



NEWS LETTER

第1号(R1.5.29)

平成30年度の事業報告

昨年度は、従来からの事業に加えて新たな事業を本格化させました。京都府関係では、丹後地区を中心とした京都府北部支援事業を具体的に展開し、教職支援を推進しました。京都市関係では、向島秀蓮義務教育学校の設定準備に協力してきました。また、詳細は裏面の現職支援拠点からの報告で述べておりますが、従来のWeb配信ビデオコンテンツ開発が、100本の大台に乗りました。さらに、学び続ける教員のための講演会、リーダー養成の研修、スポーツ指導者養成、学生ボランティアの事業・部門も活発に活動してきました。本年度もさらなる充実を目指して取り組んでいきます。

学校訪問受入件数

中学生などによる大学訪問を受け入れています。本学の学生有志が大学生活の様子などを紹介しています。
 平成30年度の主な受け入れ件数は下記の通りです。

(中学校)

5月18日(金)	和歌山大学教育学部附属中学校	24名	学生ボランティア	8名
5月22日(火)	広島県広島市立大塚中学校	7名	学生ボランティア	2名
5月23日(水)	京都市立西京高等学校附属中学校	18名	学生ボランティア	3名
5月29日(火)	城陽市立東城陽中学校	12名	学生ボランティア	2名
5月30日(水)	京都市立桃陽総合支援学校	10名	学生ボランティア	2名
6月5日(火)	木津川市立木津第二中学校	25名	学生ボランティア	4名
6月7日(木)	宇治田原町立維考館中学校	15名	学生ボランティア	2名
10月25日(木)	城陽市立西城陽中学校	17名	学生ボランティア	2名
11月15日(木)	京都市立大淀中学校	40名	学生ボランティア	6名

(高等学校)

7月25日(水)	京都市立塔南高等学校教育みらい科2年生	15名
3月19日(火)	京都市立塔南高等学校教育みらい科1年生	16名

(小中一貫校:リーダー研修会)

8月6日(月)	京都市立凌風学園	40名	学生ボランティア	10名
---------	----------	-----	----------	-----



学生の相談件数

主に教員志望の学生・院生を対象に、教員採用試験に向けた対策などの相談を行っています。

平成30年度の主な相談件数を専攻別に紹介します。

【教育学部】

専攻名	教育	幼教	発達	国語	社会	英語	数学	理科	技術	家庭	美術	音楽	体育	合計
相談件数	109	35	52	98	117	75	153	163	27	64	5	92	126	1,116

【教育学研究科】

専攻名	学校教育	障害児教育	教科教育	合計
相談件数	12	4	77	93

【連合教職実践研究科】

専攻名	教職実践	合計
相談件数	22	22



幼児教育専攻のみなさんの作成による壁面飾り
 (センター機構棟の入口)

スポーツ指導者養成部門より

本プログラムでは、学生の活動の様子を紹介する「体育・スポーツ指導力養成プログラム通信」を毎年2回発行しています。今回発行した第4号は、小学生対象のスポーツ教室におけるインターンシップについて、様々な学科から集まった28名の学生たちの学びの様子を紹介しています。1年間の指導実習で、学生1人1人の力は確実に伸びています。通信は教職キャリア高度化センターHP (<https://www.kyokyo-u.ac.jp/Cece/2018/03/post-1.html#content>)のプログラムの活動状況)で公開しています。ぜひご覧ください。

現職支援拠点より

現職支援拠点では、初任期段階から教員生活全体を通じた現職教員の成長・発達を支援すべく、様々なことに取り組んでいます。昨年度の取り組みを紹介いたします。

1. 先生を”究める”Web講義

家でも学校でもどこでも修士レベルの講義を受講できることを目指して、平成26年に7本の動画でスタートしたこの取り組みも、本学教員や3大学連携による大阪教育大学、奈良教育大学の教員、京都府・京都市教育委員会等の協力を得て、平成30年度には、視聴可能な動画が100本を超えるまでになりました。その内容も、「現代的教育課題」、「教育の基礎理論」、「教科専門」、「教科教育」に対応したものなど多岐に渡り、教員の日常の学習や校内研修に利用されているのみならず、教員免許状更新講習（反転型研修）や京都府、京都市の教員研修講座でも活用されております。

2. 学び続ける教員へのメッセージ（講演会）

6月23日、本学に、筑波大学の藤田晃之先生をお迎えし、「小中一貫教育の良さを生かしたキャリア教育の在り方—新学習指導要領に焦点を当てて—」と題する講演会が開催されました。また、2月23日には、キャンパスプラザ京都にて、國學院大学の田村学先生をお招きし、「主体的・対話的で深い学びを実現するために」と題する講演会が開催されました。いずれも多くのお話を聞き、満足度の高い、充実した一時を過ごしました。

3. 京都府・京都市との連携

京都府、京都市と連携し、「学校経営に関する講座」や「特別支援に関する講座」を提供しております。京都府教育委員会に関しては、丹後教育局管内の京都府北部地区の支援に取り組み、「はぐくみ校」の課題解決支援やヤングミドルリーダー育成のための研修講座を開催するなどの事業に取り組みました。京都市教育委員会に関しては、義務教育学校の立ち上げや、小中一貫教育推進に関する支援などに取り組んでおります。

本センターのホームページでも、様々な活動の様子や本センターの利活用の仕方などについての情報を提供しております。そちらも、ぜひ、ご覧ください。

所属教員

センター長	植山 俊宏
センター次長	関口 久志
	高柳 真人
専任教員	樋口 とみ子
	西井 薫
	飛田 祥
	岡田 敏之
	初田 幸隆
	富永 吉喜
	中垣 ますみ
兼任教員	相澤 雅文
	笹沙 知章
	村上 忠幸
	小山 宏之

連絡先

ボランティアオフィス	075-644-8336
(月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30)	
スポーツ指導者養成オフィス	075-644-8143
(月～金 10:00～13:00、14:00～15:00)	
事務担当	075-644-8276/8117
(研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ)	

